

# あの空に戻るまであきらめない

## JALと旧社保庁の不当解雇撤回を

「JALと旧社保庁の不当解雇を撤回せよ」と  
2月15日朝、「JAL愛



不当解雇撤回への支援を訴える林さんと大池さん（2月15日、県庁前）

媛争議団を支える会」は、松山市の県庁前で宣伝。愛媛労連の鳥谷律子事務局長や新日本婦人の会県本部の来島頼子会長ら8人が、全厚生不当解雇撤回四国闘争団のチラシやJAL争議解決を求めるチラシを配布し、支援と理解を訴えました。

重見幸春事務局長は「労働者の生きる権利、生活する権利を不当にも奪った解雇をどうしても

このままにしてはいけな  
いとので、闘う争議  
団を支えてきた。13年に  
も及ぶ争議を闘う労働者  
の思いを、自分のいまの  
職場の働き方や苦しい状  
況と並べて考えてもらい  
たい」と力説。

「岸田政権は、憲法や  
専守防衛をかなり捨て、  
日本やアジアの平和に危  
機的な状況をつくり出す  
大変重大な転換を強行し  
ようとしている。こうし  
た時期にこそ、労働者や  
市民が力を合わせて平和  
を守り、国民の生活を前  
進させる運動を強くして  
いかなければならない」  
と訴えました。

JAL被解雇者労働組  
合（JHU）の大池ひと  
み書記次長は、寄せられ  
たメッセージ「世の中の  
理不尽さと闘っているあ  
なたたちが大好きです。  
ある一時期だけ怒ること  
は誰にでもできますが、  
あきらめないことは理性  
と知性がなければできま  
せん。声を上げることは  
勇気と忍耐がないとでき  
ません。ぼくたちは、あ

なたたちが勝利するまで  
応援します」を紹介。

「私たちがこうやって  
訴えていることは、自分  
たちだけのためではなく、  
日本中の働く労働者のた  
めにもなると思ってやっ  
ていきます。みなさん、一  
緒に声を上げていきま  
しょう。声を上げれば、  
世の中は変わります」と  
呼びかけました。

林恵美JHU副委員長  
は、35人の争議団が引き  
続き職場復帰、解決金支  
払いを求めて闘っている  
と述べ、「全国で33の支  
える会と、140名を超  
える労働法・憲法学者が  
私たちの争議を支え、国  
會議員にも応援してもら  
い、運動はさらに広がっ  
ています」と強調。

JAL争議を描いた小  
説『曙光ヘテイクオフ』  
（井上文夫著、新日本出  
版社が1月10日に出版）  
を紹介。「宣伝文の中に  
『あの空に戻るまで絶対  
にあきらめない』と書か  
れています。私たちの  
気持ちそのものです」と  
述べ、「労働者が安心して  
働ける社会、みんなが  
平和で幸せに暮らせる社  
会をつくるために、私た  
ちの運動へのご理解とご  
支援をお願いします」と  
呼びかけました。